

「蔵の街並みキャンパス」website 民家の再生 説明文

民家を再生するにあたって庭の手入れが趣味の老夫婦と共働きの夫婦、こども2人の6人家族を想定して設計を行った。第二の人生を歩み始めた老夫婦が家族やまちの人々と豊かな関係を築くための古本屋とオープンガーデンを新たに付加した二世帯住宅を提案する。

まず、まちの人から不要な本を回収後、展示、無料配布を行うために、北側の土蔵を古本屋として活用する。1階のギャラリーでは、五感で古本の魅力を楽しむことができ、2階では誰でも本を自由に閲覧・持ち帰りをする事ができる。

次に、須坂市が「花と緑のまちづくり事業」を行っていることや、街並みの保存や再生が進む表通りに対して裏通りが暗いという課題から敷地の北側にオープンガーデンを設けた。ここでは、四季を楽しめる樹木を新たに植樹し、古本屋に続く道を整備したことで、訪れた人が自然を感じられるようにしただけでなく、好きな場所で本を読める空間を提供する。

最後に、親世帯と子世帯が互いに協力し合って生活できるようなゾーニングを設計した。さらに、座敷と老夫婦の寝室を土間で繋ぐことによって、南北の庭への動線を緩やかにするだけでなく、老夫婦とまちの人の交流を促す空間とした。